

2020. 11. 10

喜多方市の表彰

森絃一

佐藤さんが、今度は喜多方市から表彰されました。
たびかさなる表彰、おめでとうございます。

喜多方市の表彰条例に基づき、令和2年度喜多方市表彰者「善行」として表彰されたそうで、その功績は、市政進展のため彫像『飛天の頌（ひてんのしょう）』の寄贈となっています。

表彰式は、本日11月10日（火）10時30分～ 喜多方市プラザ文化センターで行われました。

「喜多方は第二の故郷」と佐藤さんは常々口にされる。豊実から通い詰めた福島県立喜多方高等学校の生活は、佐藤さんの青春そのものであったに違いない。

今回市役所の入口を飾ることになった作品『飛天の頌』の制作過程は、コスモ夢舞台のホームページに佐藤さんが、その「奮闘記」を書いている。



8月18～27日までの約10日間のブログは、「今に生きる」「今、命がけの仕事」「ひと山超えて」「山場を終えて」「喜多方市長さんを迎えて」とタイトルを見るだけでも、佐藤さんの熱い思いが伝わってきます。コスモ夢舞台のHP 会員の活動に記載されています。

ところで佐藤さんは、こうした名誉や表彰をなぜ受けるのか、という謎かけに「私には共に夢を追う大勢の仲間がいる。仲間にはいつも感謝している。野球のイチロウのように恰好よく辞退したくても、それはできない」と自問自答されています。